



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 309
December
2018

トピックス

国際会議への参加

↑ センチネルアジアステップ3のための第6回連絡会議

↑ 第25回アジア・太平洋地域宇宙機関会議

短期滞在研究員レポート

↑ アナスタシア・クバシャ

● 国際会議への参加

センチネルアジアステップ3のための第6回連絡会議

アジア防災センター（ADRC）は、2018年11月1日から2日まで淡路で開催された、JAXAとADRC共催による標記の会議に出席した。会議にはアジア各国の衛星関連機関、防災関係者、その他機関などから約40名の関係者が参加した。この会議の主な内容は以下の通りである。

セッション1：概要

セッション2：センチネルアジア新メンバーとワーキングの活動

セッション3：エンドユーザのセッション

セッション4：ローカルホストのセッション

セッション5：プロジェクト管理

セッション6：センチネルアジアの新システム

セッション7：センチネルアジアのStrategic Plan

セッション8：特別セッション

セッション9：閉会

ADRCのメンバー機関であるミャンマー、ラオス、マレーシアの防災担当機関の参加者が、前日までに開催されていたACDRに引き続きJPTMに参加した。関係者は、各国の防災体制について発表を行った。また、ADRCは緊急観測の最新活動について紹介を行い、Strategic Planの活動についても報告を行った。最後に、鈴木所長からセンチネルアジアの共同議場として閉会の挨拶を行った。



Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

第25回アジア・太平洋地域宇宙機関会議

2018年11月6日から9日までシンガポールで開催された、SSTA（シンガポール宇宙技術協会）と経済産業省とJAXA共催による標記の会議にADRCは出席しました。会議にはアジア太平洋の衛星関連機関、政府機関、国際機関、開発援助機関、民間企業、大学や研究機関など40以上の国と地域から多くの関係者が参加しました。この会議は4つのワーキンググループ（アプリケーション、技術、環境活用、教育）と、小型衛星開発及びISSの実験棟「きぼう」利用推進ワークショップ、及び本会議で構成されました。

この中でADRCは宇宙アプリケーションWGに参加してセンチネル・アジアの運営状況を報告し、本会議ではセンチネルアジアのこれまでの発展と運営委員会による戦略計画策定及び前週淡路で開催されたセンチネルアジアJPTMでの承認の報告を行いました。

最終日には議長からセンチネル・アジア戦略計画の実行を進める提言がなされました。ADRCは今後も関係機関と連携を強化しながらセンチネルアジアの推進に取り組んでいきます。

● 短期滞在研究員レポート

アナスタシア・クバシャ さん

はじめまして。私はハンガリーのブタペストにあるヨーロッパ中央大学から来たアナスタシア・クバシャと申します。ロシア出身で、大学では環境科学および政策に関する学部の博士課程に所属しています。博士課程での私の研究テーマは、防災分野における宇宙技術及び地理空間情報に係る研究で、特に地域単位における洪水に対する強靱化について研究を行っています。また大学では、指導教育の補助や、環境システム研究所が運営する各種プロジェクトやトレーニングの支援も行っています。

今回、ヨーロッパ中央大学と受け入れ先であるADRCの支援を頂いて、2018年8月27日から11月10日の約3か月間、研究活動を行うため日本に滞在しました。まずADRCでは、地域における防災システムの状況や様々な防災に関する事業について学ぶ機会がありました。私の研究テーマに関連して、特に、防災分野における宇宙技術の利活用を目的としたセンチネルアジアや国際災害チャーターについて学ぶ機会があり、とても関心を持つことができました。さらに滞在期間中においては、山口県宇部市にある山口大学応用衛星リモートセンシング研究センターで学ぶ機会を頂き、同大学が役割であるセンチネルアジアにおけるデータ解析機関の活動や、山口県とJAXAとの連携についても知る機会を頂きました。

アジア太平洋地域においては、世界的にみても洪水に対して脆弱な国や地域が多くあります。例えば、バングラデシュ、中国、インド、パキスタン、ミャンマーなどが挙げられると思います。ADRCにおいては、日本やアジア各国で課題となっている、地域単位における災害リスクを理解すること、また31のメンバー国における各機関との連携の必要性など、幅広く理解することができました。特に、同時期にADRCに滞在していたドイツからのインターンさん、モルディブ、インド、マレーシアからの客員研究員の皆さんと共に多くの時間を過ごすことが出来たことは、私にとって大変貴重な経験となりました。

最後に、滞在期間中にご支援を頂いたADRCの皆様、客員研究員の皆様、山口大学の生徒や研究員の皆様、その他全ての方々にお礼を申し上げたいと思います。



問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。